読
どっかい

しょうがく5ねんせい ・ こくご ・ k5-65

事実と 意見

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ



こたえ

- 1　(1) ㋐ 事実　(2) ㋐ 事実　(3) ㋐ 事実　(4) ㋑ 意見　(5) ㋑ 意見
- 2　(6) 森を育てる大切なもの
- 3　(7) ㋐ ～と考えます・～と思います

みてあげる ところ

- 「～と考えます」「～と思います」 は 筆者の 意見を 表す 文の 終わり方です。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

読
どっかい

しょうがく5ねんせい ・ こくご ・ k5-66

だん落の 役わり

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ



こたえ

- 1　(1) ㋐ 問いを 出して いる　(2) ㋑ 答えの 一つ目を 説明して いる
  (3) ㋒ 答えの 二つ目を 説明して いる　(4) ㋓ 全体を まとめて いる
- 2　(5) じょう発
- 3　(6) ㋐ 晴れて 気温が 高い 日

みてあげる ところ

- ①の「どこへ 行くのでしょうか」が 問い、④の「このように」が まとめの 合図です。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

読
どっかい

しょうがく5ねんせい ・ こくご ・ k5-67

筆者の 考えの 中心

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ



こたえ

- 1　(1) あなたに気づいていますよ　(2) 自分の気持ちを整える働き
  (3) さあ、始めよう
- 2　(4) ㋐ ④
  (5) ㋐ あいさつは、相手との つながりを つくり、自分の 一日を 始める 大切な 言葉だ

みてあげる ところ

- 要旨は、まとめの だん落（④）に 書かれる ことが 多いです。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

読
どっかい

しょうがく5ねんせい ・ こくご ・ k5-68

表と 文章を 結びつける

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ



こたえ

- (1) 32　(2) 3
- (3) イ 図かん　(4) ア まんがを 読む 人は、図かんを 読む 人より 少ない
- (5) 学級文庫に伝記をふやすこと

みてあげる ところ

- 1は 12＋8＋6＋4＋2＝32人、2は 12÷4＝3倍です。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

読
どっかい

しょうがく5ねんせい ・ こくご ・ k5-69

登場人物の 関係

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ

人物に
しるしを つけよう



こたえ

- 1　(1) ㋑ 母　(2) ㋒ 妹　(3) ㋒ 少し はずかしかったが、にっこり 笑った
- 2　(4) となりの町　(5) おばあちゃんが作るにもの

みてあげる ところ

- 人物の 名前と、その 人を 説明して いる 言葉（母の お母さん・妹の）を 線で 結ぶと 関係が 分かりやすく なります。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

読
どっかい

しょうがく5ねんせい ・ こくご ・ k5-70

気持ちの 変化

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ

はじめと 終わりを くらべよう



こたえ

- 1　(1) ㋑ 不安　(2) ㋒ 早めに 校庭へ 行き、受けわたしを 練習した
  (3) ㋐ 不安 → 自信
- 2　(4) 足取りは重かった　(5) よし、だいじょうぶ

みてあげる ところ

- 「足取りが 重い」は 気が 進まない 様子、「顔を 上げて 青い 空を 見た」は 気持ちが 前向きに なった 様子を 表します。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

読
どっかい

人物の 人がら

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ

したことに
注目しよう



こたえ

- 1　(1) みなみが、一人で本を読んでいた　(2) 読み終わったら、感想を聞かせてね。
- 2　(3) ㋑ みなみの 所へ 行くため
  (4) ㋑ おしつけがましくない、ひかえめな やさしさが ある
  (5) ㋑ 周りの 人に よく 気を 配る

みてあげる ところ

- 人がらは、人物の 行動（ボールを 置いて 行く・だまって 本を 置く）や 会話から 読み取ります。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

読
どっかい

しょうがく5ねんせい ・ こくご ・ k5-72

表現の 工夫

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ



こたえ

- 1　(1) たくさんの小さな鏡　(2) もう一回。もう一回。
- 2　(3) ㋐ 水面が 光って いる 様子が 目に うかぶ
  (4) ㋒ 何度も 投げ続ける 楽しさが 伝わる
  (5) ㋑ 人で ない ものを、人のように 表して いる

みてあげる ところ

- 「まるで〜ように」は たとえ（比ゆ）の 表現です。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

読
どっかい

しょうがく5ねんせい ・ こくご ・ k5-73

伝記

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ

出来事と
生き方を 結ぼう



こたえ

- 1　(1) 一八七六年　(2) いろりに落ちて　(3) 黄熱病
- 2　(4) ㋑ 手術を 受けて、指が 動くように なった こと
  (5) ㋑ つらい ことが あっても、目標に 向かって 努力し続けた

みてあげる ところ

- 伝記では、出来事（やけど・手術・研究）と、そこから 分かる 人物の 生き方を 結びつけて 読みます。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

読
どっかい

しょうがく5ねんせい ・ こくご ・ k5-74

ずい筆

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ



こたえ

- 1　(1) ㋐ 体験　(2) ㋑ 考え　(3) ㋐ 体験　(4) ㋐ 体験
- 2　(5) ㋑ 町に 顔見知りが いるのは 心強い
- 3　(6) これ、使って

みてあげる ところ

- 「～と思う」で 終わる 文に、筆者の 考えが 書かれて います。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

読
どっかい

詩

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ



こたえ

- 1　(1) 木は　(2) 芽を出すこと　(3) 葉を落とすこと
- 2　(4) ㋒ 人で ない ものを、人のように 表して いる
  (5) ㋒ 春が 来るのを 待って いる

みてあげる ところ

- 木は 春が 来る ことを「知っている」から、はだかの えだでも じっと 待って いる、と 読めます。

書体: Klee One（SIL Open Font License）

読
どっかい

しょうがく5ねんせい ・ こくご ・ k5-76

意見文

こたえ（おうちの かたへ） ・ この かみは べつに いんさつ

主張と 理由に
線を 引こう



こたえ

- 1　(1) 放課後　(2) 昼休みは時間が短く、ゆっくり本を選べないから
  (3) 図書委員の仕事がふえる
- 2　(4) ㋐ 放課後に 調べ学習を したい 人が いる
  (5) ㋒ 当番を 曜日ごとに 分ければ、一人の 負担（ふたん） は 大きく ならない

みてあげる ところ

- 意見文は「主張 → 理由 → 予想される 反対や 心配への 答え → まとめ」の 順に 書かれる ことが 多いです。

書体: Klee One（SIL Open Font License）